



<本年度会長方針>

# 新たなる一步を

## WEEKLY REPORT No.1286

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日 12:30 例会場 名古屋東急ホテル  
会長 高木政義 事務局 名古屋市中区栄4丁目6番5号 丸越ビル6F  
幹事 大原敏正 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008  
URL <http://www.nagoya-osu.org> E-mail [office@nagoya-osu.org](mailto:office@nagoya-osu.org)



### 第1505回例会

#### 世界理解月間

平成27年2月12日(木)

#### 創立記念例会

#### スペシャル座談会

於 名古屋東急ホテル

出席計算数 58名

53名中48名出席

出席率 90・57%

前々回出席率 86・27%

#### 例会プログラム

★1500回アテンダンス表彰

★委嘱状伝達式(地区役員)

★松本社会奉仕委員長

・介助大イベント「報告

★桑山職業奉仕委員長

・春のふれあい防災教室(案内

★吉田憲一親睦活動副委員長

・春の家族会(3月28日(土))

新築開業記念「日蘭貿易海運博覧の旅

★宇野青少年奉仕委員長

・ダルトン誕生日会のご案内

★岡村会員会葬のお礼

★田嶋会員会葬のお礼

★創立記念例会「スペシャル座談会

#### ニコソックス

今日はクラブの創立記念日です。

そして妻の誕生日です。

高木 政義  
本日の単語よろしくお願ひします。

大原 敏正・近藤宏一郎

本日はよろしくお願ひします。

渡辺 観永

創立記念日を祝して!

堀江 英弥・丹下 富博

「スペシャル座談会」楽しみにしています。  
創立例会を祝して! 家内の誕生日です。  
岡部 快圓

節分では福祿寿の神様になりきり  
貴重な体験をさせて頂きました。

大須観音 岡部貴主ありがとうございました。

佐藤 彰

社会奉仕委員会の皆様ご苦労な  
です。

横井 衛

誕生日です。

松本 哲朗・吉田 隆彦

先日はご多忙の中、父の葬儀に多数の会葬、ご弔電をいただき誠にありがとうございました。

岡村 隆徳  
田嶋 雅三

#### 会長挨拶

会長 高木 政義



今週の月曜日に大須小学校へ行きまして。地区補助金による助成の普及活動は今回の小学校訪問で終わりました。先週2月3日は大須観音での節分例会でしたが、同日の夕方から名古屋ロータリー

クラブ創立90周年記念式典が名古屋観光ホテルであり出席しました。会員数は187名。創立年数会員数ともに当クラブの3倍です。

記念単語を盛田パストガバナーが  
されましたがクラブ在籍年数は60  
年とのことでした。いすれにして  
も歴史を感じた記念式典でした。

今日は2月12日。名古屋大須ロ

タリークラブがR-加盟承認さ

れた日です。2月7日に創立総会

5月26日にはR-加盟認証状伝

達式が行われています。手許の「例

会の記録」の表紙には「1985.2.

12」の年月日が印刷されています。

この記録は毎年度、役員・理事・委

員会構成表と例会プログラムとし

てその年度の主な出来事の3部で

出来ています。これを閲覧してい

ますと30年の重みを感じられます。

例会プログラムは各年度の活動が

ぎっしり詰ま

っています。

そこで今日

の例会はクラブ

創立を記念

しての企画で

です。インタビ

ュー形式によ

る浅野彰さん

と神田憲さん

の座談会です。お

二人のクラブに対

する様々な思いを

聞かせていただき



浅野 彰 ロタリーの友愛の  
精神を育むためには、やはり他の  
クラブのミーティングに参加する  
ことが素晴らしいですね。ロータ  
リーバッジをつけていることは、  
その権利を持っている証です。ど  
このクラブにお伺いするときは、  
事前に連絡をしていただけるとは  
ほとんどありませんが、大層歓迎  
してくれましたね。最初にメイキャ  
ップに行ったのは、名古屋大須R  
Cができることをお伝えしに行っ  
た、知多半島のクラブでした。手  
分けをしてみんなで回ったのです。  
それ以外では日本で最初に設立さ

ます。会場正面に創立記念日の幕  
がありますが、これは岡部快圓さ  
んにお願いしたものです。クラブ  
の創立記念を記憶するものとして  
長く保存されることでしょうか。

#### 創立記念例会

#### スペシャル座談会

#### 渡辺 観永

本日は創立記念例会

にみなさまようこそ! 高木会長の

「新たなる一步を」のテーマに基

づきまして「ロータリーの友愛」

奉仕(YEP)について、先輩で

ある浅野さんと神田さんから意

見をインタビュー方式でいただき

ます。この方式は、クラブ奉仕委

員会で打ち合わせをさせて頂いた

ときに出た方式で、チャレン

ジとなりますがよろしくお願ひ致

します。

浅野 彰

ロータリーの友愛の

精神を育むためには、やはり他の

クラブのミーティングに参加する

ことが素晴らしいですね。ロータ

リーバッジをつけていることは、

その権利を持っている証です。ど

このクラブにお伺いするときは、

事前に連絡をしていただけるとは

ほとんどありませんが、大層歓迎

してくれましたね。最初にメイキャ

ップに行ったのは、名古屋大須R

Cができることをお伝えしに行っ

た、知多半島のクラブでした。手

分けをしてみんなで回ったのです。

それ以外では日本で最初に設立さ





れたクラブである、東京RCに参加しました。さすがにすごいクラブでした。ぜひ出かけて体験して頂きたいものです。

海外ではパリが最初でした。夜の例会でしたので、お酒も出る。時間余りの非常に楽しいものでした。日本国内も海外各地もよく参加してきましたが、地域が違ってもそれぞれの個性があって、「ああ、こんなふうなんだな」という受容性が育まれますね。是非、皆さんにもロータリーに入ったからにはサインメイキャップなどではなくて他のクラブのミーティングに参加していただきたいものです。それがそのまま自身の成長につながり、それをクラブに持ち帰ってきてくださると、名古屋大須RCもより活性化できると思います。

**神田 憲** 現在の2760地区  
当時は長野も加えての地区でしたが、1968年に、多感な高校生を対象としたプログラムがはじまりました。それが青少年交換留学(YEP)でした。わがクラブも創設時に、青少年の面倒をみる奉仕があるということで、参加することになったのです。

このプログラムは、大きく二つの条件が整っていないれば成立しないといわれています。一つは受け入れ学校との強力なつながり、そしてもう一つはホストファミリーです。学校につきましては4代目会長である鬼頭哲夫さんが愛知淑徳高校の校長先生と懇意になさっていらっしゃるおかげで、無事に決まりました。ホストファミリーは、特に女性の方の負担が大きいです。いつも気を遣っていました。今は4〜5家族が2.5〜3か月ほどのスパンで受け入れていらっしゃると思います。クラブによっては半年ぶつ続けで受け入れるというクラブもあり、様々です。いずれにしても、奥様方のフォローに常に感謝の気持ちを持って敬意を払わなければなりません。

ホストファミリーを1か月でいかか？という意見がありました。悪くはありませんが、学校の通学、定期券などの問題や、落着いてきたころにホストチエンスというのは留学生の精神的な負担もあり、慎重にすべきでしょう。

いずれにしても多感な青少年をうけ入れ、育み、ともに文化の違いからくる歯かゆさを感じあいなから、認め合う気持ちを熟成していくプログラムであります。留学生だけでなく、関わり合いを持つ方すべてが成長するプログラムであるということもいいたいです。

**渡辺 観水** ありがとうございます。最後に次の方のアンケートを読み上げて終わりたいと思っております。「長年当クラブで築いてきた誇るべきプログラムです。青少年が異文化の中で一年間生活し、ほかの価値観を耳聞することは、本人の考えに柔軟性ができ、相手を理解するうえで大変重要です。」このプログラムに世界のすべての若者が参加したならば戦争はなくなるであろう」と元RI会長が断言しました。この後も会員のご理解で素晴らしい青少年を育てたいものです。

以上で特別インタビュウを終わります。浅野さん、神田さんありがとうございました。



1500回アンテナダンス表彰



高木政義会長より記念品が手渡されました。

- ・ 委嘱状伝達式(地区役員)
- ・ 地区諮問委員会 岡部 快園
- ・ 立法案審議委員会 岡部 快園
- ・ 十一委員会 杉浦 令淑
- ・ 国際奉仕委員会副委員長 堀江 英弥
- ・ 青少年交換委員会 高木 政義



前田隆久副会長より委嘱状が手渡されました。

受入青少年交換学生挨拶

2月3日例会  
タルトン・レイン・ベイカー  
みなさん こんにちは。いまは

インフルエンザの きせつです。わたしの こうこうで みなさんかぜを ひいています。だから べんぎょうは むりです。クラスメイトの ひごりは ごぶんごに せきをします。かれが、せきをすると、そのあと、みないっせいに、せきをします。だから、かれは、ときどき、せんせいにごめんなさい、といっています。

いま、まいにち わたしのおかあさんは、いいます。「エッセイを かきましたか?」うるさいです。アメリカでは、にゅうがくしけん、ありません。かわりに、エッセイ(さくぶん)です。エッセイの、タイトルは、いつも、おなじです。どうして、あなたは、だいがく、いきたいか?です。ほんとに、たいへんです。とても、いそがしいです。でも、がんばります。

2月19日(木)例会の案内

例会参観 2月22日(日)

地区大会2日目

於 Wナゴヤキャッスル

9時受付 10時開会

(17時30分閉会・点鐘)

広報委員会

杉浦 令淑・内藤 明

林 順治

\*本文は、原則、頂いた  
原稿を転載しています。